

(様式第9)

川学法第540号
平成24年10月3日

厚生労働大臣 殿

川崎医科大学附属病院
学校法人 川崎学
理事長 川崎

川崎医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第10）
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第11）
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	68.5人
--------	-------

（注）前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

→ 別紙参照（様式第12）

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績

→ 別紙参照（様式第13）

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	397人	18人	400.5人	看護補助者	123人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	3人	2人	3.1人	理学療法士	39人	臨床検査技師	79人
薬剤師	42人	3人	43.1人	作業療法士	34人	衛生検査技師	0人
保健師	6人	0人	6.0人	視能訓練士	13人	検査その他の	0人
助産師	7人	3人	7.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	770人	30人	783.8人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	1人	その他の技術員	29人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯科技工士	0人	事務職員	122人
管理栄養士	29人	0人	29.0人	診療放射線技師	41人	その他の職員	32人

（注）1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	666.5人	5.6人	672.1人
1日当たり平均外来患者数	1,721.4人	50.7人	1,772.1人
1日当たり平均調剤数		3,205.9剤	

（注）1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	抗CD25抗体併用がんワクチン	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要			
がんワクチンの開発研究を実施している。癌免疫の抵抗勢力である制御性T細胞を抗CD25抗体で抑制できる基礎研究に基づき、がんワクチンに抗CD25抗体を併用する臨床試験を実施している。(臨床腫瘍科)			
医療技術名	活性化自己リンパ球移入療法	取扱患者数	55人
当該医療技術の概要			
活性化自己リンパ球移入療法は、採血によって樹状細胞とリンパ球を採取し、試験管内でがん抗原(がん細胞、ペプチド抗原、ピロリン酸)を用いてリンパ球を活性化し、再度点滴でお身体にお戻しする治療である。(臨床腫瘍科)			
医療技術名	気管内治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
悪性および良性疾患による気道狭窄や気管瘻に対して全身麻酔下に腫瘍の切除やステントを留置し気道を確保するものである。23年度は肺癌再発による気道狭窄に対してステント留置を3例に実施した。(呼吸器外科)			
医療技術名	間質性膀胱炎に対する膀胱水圧拡張術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
間質性膀胱炎は蓄尿時の膀胱痛および頻尿を主症状とする疾患である。近年その患者数は増加傾向にあるが有効な診断法、治療法がないのが現状である。唯一その中で、診断と治療を兼ねた方法が腰椎麻酔下の水圧拡張術である。(泌尿器科)			
医療技術名	難治性過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
薬剤抵抗性の切迫性尿失禁患者の膀胱壁に内視鏡を用いてA型ボツリヌス毒素を注入し、排尿筋過活動に伴う尿失禁を治療することを目的とする。(泌尿器科)			
医療技術名	前立腺癌に対する腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
局所限局性前立腺癌に根治的治療である前立腺全摘除術を腹腔鏡下で行い、低侵襲性と拡大視野による良好な制癌効果が期待できる。(泌尿器科)			
医療技術名	腎細胞癌に対する腹腔鏡下腎部分切除術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
小径の早期腎細胞癌に対して腹腔鏡下腎部分切除術を行うことで腎温存と低侵襲性の両方が期待できる。(泌尿器科)			
医療技術名	脂質異常症における遺伝子診断	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
脂質異常症の病因検索として、患者の遺伝子解析を行い、診断・治療に役立てる。(糖尿病・代謝・内分泌内科)			
医療技術名	1型糖尿病におけるHLAの解析診断	取扱患者数	31人
当該医療技術の概要			
1型糖尿病・劇症型糖尿病の診断補助として、HLA(組織適合抗原)の解析を行い、正確な診断を下すとともに、インスリン強化療法の早期導入に役立てる。(糖尿病・代謝・内分泌内科)			

医療技術名	持続皮下グルコース測定(CGM)	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
主に1型糖尿病症例に対し、1日288回×3日連続で皮下留置センサーにて血糖のモニタリングが可能となった。より詳細な血糖変動の把握が可能である。			
医療技術名	皮下インスリン持続静注療法(DSII)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
精密なポンプを利用した、インスリン持続皮下注入による血糖のより厳格な管理が可能となる。主に1型糖尿病、糖尿病合併妊娠症例が対象となる。			
医療技術名	経頭蓋的磁気刺激法による脳神経機能診断	取扱患者数	51人
当該医療技術の概要			
経頭蓋的磁気刺激法は、非侵襲的に錐体路の機能を評価する方法であり、多発性硬化症や神経変性疾患等の診断に有用である。(神経内科)			
医療技術名	単一筋線維筋電図による神経・筋疾患の診断	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要			
単一筋線維筋電図は、神経接合部における伝達障害の最も感度の高い検査法であり、重症筋無力症の診断に有用である。(神経内科)			
医療技術名	遺伝性神経・筋疾患の遺伝子診断	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
筋ジストロフィー、遺伝性ニューロパチー、神経変性疾患(脊髄小脳変性症、パーキンソン病)を対象として、FISH法、サザンプロット法、PCR法等による遺伝子診断を行う。(神経内科)			
医療技術名	眼瞼痙攣、痙性斜頸に対するボツリヌス治療	取扱患者数	93人
当該医療技術の概要			
眼瞼痙攣、Meige症候群、痙性斜頸を対象として、ボツリヌス毒素の局所注射による治療を行っている。(神経内科)			
医療技術名	神経変性疾患に対する経頭蓋磁気刺激療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要			
パーキンソン病、脊髄小脳変性症などの神経難病を対象として、神経細胞に磁気刺激を与えることにより、神経機能の改善をはかる治療法。(神経内科)			
医療技術名	低髄液圧症候群に対する自家血パッチ	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
上記病名の患者に対して、自家血を採取し、それを硬膜外腔に注入する。(脳神経外科)			
医療技術名	修正型電気けいれん療法(modified electro-convulsive therapy:ECT)	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要			
修正型電気けいれん療法は、十分な筋弛緩薬を用いた全身麻酔下で、頭部に電流を流すことで全身痙攣発作を起こす精神疾患治療法であり、薬物療法が奏功しない難治性うつ、統合失調症、昏迷状態などが主な対象である。(心療科)			
医療技術名	難治性強迫性障害への入院認知行動療法	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
薬物療法が奏功しない、重症で難治性の強迫性障害に対して、入院による集中的な認知行動療法を行なっている。(心療科)			

医療技術名	遺伝子増幅法を用いた肺炎マイコプラズマ、肺炎クラミジア感染症の迅速診断	取扱患者数	1377人
当該医療技術の概要			
全国の医療機関から依頼され、real-time PCR法を用いて、非定型細菌感染症の診断と菌量を測定している。(小児科)			
医療技術名	遺伝子シークエンス法を用いたマクロライド耐性マイコプラズマの薬剤感受性	取扱患者数	411人
当該医療技術の概要			
全国の医療機関から依頼され、マイコプラズマのマクロライド感受性を遺伝子シークエンス法を用いて、迅速に診断している。(小児科)			
医療技術名	ヘルペスウイルスのreal-time PCR	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
突発性難聴などの病態を解明するために、ヘルペスウイルス(サイトメガロウイルス、単純ヘルペスウイルス、水痘帯状疱疹ウイルス)の原因検索を行っている。(小児科)			
医療技術名	漏斗胸に対するNuss手術	取扱患者数	41人
当該医療技術の概要			
ステンレスバーを脇の小切開創から挿入し、胸壁を持ち上げる方法で従来法と比較すると、手術時間が短く、出血量も少なく、傷も目立たない低侵襲手術。(小児外科)			
医療技術名	腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術(LPEC法)	取扱患者数	83人
当該医療技術の概要			
臍から腹腔鏡を挿入し、腹腔内から観察しながら、腹膜症状突起の根部(ヘルニア嚢)の結紮を行います。従来法と比較すると創痕が小さく、さらに反対側開存の検索と治療が同時に可能である。(小児外科)			
医療技術名	小児鏡視下手術	取扱患者数	153人
当該医療技術の概要			
小児では体が小さいため技術的には難しいが、傷が小さくできる・手術後の痛みが少ない・術後の回復が早いなどの利点がある。(小児外科)			
医療技術名	広汎性子宮頸部切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
子宮頸癌治療として、子宮温存・妊娠能温存をはかるものである。(産婦人科)			
医療技術名	乳癌に対する皮下乳腺全摘+ティッシュ・エクスパンダー充填術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
広範な乳管内の癌進展のために乳房温存が不可能な症例に対し、乳房の整容性を保つための術式。(乳腺甲状腺外科)			
医療技術名	自己血回収器具を用いた術中自己血回収	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
術中に自己血回収器具を使用し出血を回収。無菌的に小型遠心式洗浄器を用いて赤血球を集積、洗浄し赤血球濃厚液として回収。これを自己血として使用する。(整形外科)			
医療技術名	術後回収式自己血輸血法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要			
手術終了後、創部ドレーンからの流出血液を抗凝固性及び赤血球保護作用のある液体と混合。これを無菌的に小型遠心式洗浄器を用いて、赤血球のみを集積、洗浄し、赤血球濃厚液として回収。これを自己血輸血として使用する。(整形外科)			

医療技術名	インストルメンテーションを用いた脊柱再建術	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
変形性脊椎疾患、脊椎の外傷、転移性脊椎腫瘍に対してインストルメンテーションを用いて脊椎再建術を行なう。変形矯正とともに強固な固定が得られ、早期離床が可能となる。(整形外科)			
医療技術名	内視鏡視下脊椎手術	取扱患者数	93人
当該医療技術の概要			
内視鏡視下手術手技を用いて、後方進入腰椎椎間板ヘルニア摘出術、腰椎椎弓切除術、頸椎椎弓切除術を行なう。この方法は最小侵襲手術手技であり、神経合併症を回避することができ、早期の離床及び社会復帰が可能となる。(整形外科)			
医療技術名	内視鏡視下脊椎前方固定術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要			
内視鏡視下手術手技を用いて、胸腰椎前方固定を行なう。この方法は最小侵襲手術手技であり、神経合併症を回避することができ、早期の離床及び社会復帰が可能となる。(整形外科)			
医療技術名	経皮的椎間板摘出器具による脊椎炎持続洗浄療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
化膿性脊椎炎に対して、経皮的に病巣搔爬し、持続洗浄を行なう。この方法は最小侵襲手術であり、早期離床が可能となる。(整形外科)			
医療技術名	脊髄誘発電位測定	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
脊椎・脊髄の手術において脊髄誘発電位をモニタリングすることで安全に手術が行なえる。(整形外科)			
医療技術名	切断指(趾)に対する顎微鏡視下手術	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
手指の組織欠損、足趾欠損に対して、顎微鏡視下でしか確認できない指動脈や指神経を吻合、縫合し、再接着を行い本来の指趾機能を回復させる。(整形外科)			
医療技術名	関節鏡視下手術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要			
関節鏡を用いて股関節唇障害や膝半月板損傷、棚障害、関節鼠に対して、鏡視下に縫合術や切除・摘出術を行なう。さらに関節内骨折に対する整復固定術や韌帯再建術も関節鏡視下に行なう。侵襲が少なく、術後の機能回復が早い。(整形外科)			
医療技術名	三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	取扱患者数	115人
当該医療技術の概要			
術前に骨盤から足までのCTを撮影し、それを3次元的に再構築したうえで、術前計画を行う。その後に人工股関節置換術をナビゲーションを用いて施行する。(整形外科)			
医療技術名	インターフェロン感受性遺伝子(IL28B遺伝子型)解析	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要			
C型慢性肝炎患者に対するペグインターフェロン+リバビリン治療効果予測の為に、上記遺伝子検査を行い、治療効果予測に準じたティラーメイド医療を実践している。(肝・胆・膵内科)			
医療技術名	腹腔鏡補助下肝切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
腹腔鏡補助下に肝切除を行う方法で、2012年1月から施設認定を受け実施中。(消化器外科)			

医療技術名	緑内障インプラント手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
緑内障のインプラント手術は二十年以上前から試みられてきたが、成功例が少なかった。近年、材料の開発が進み、治療法として確立されつつあるところである。(眼科)			
医療技術名	シャンデリア硝子体手術	取扱患者数	399人
当該医療技術の概要			
シャンデリアは硝子体手術の際に眼内を照らす最新の機器であり、両手を使用する複雑な手術には特に有効である。(眼科)			
医療技術名	頭頸部癌に対する超選択的動注化学療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
頭頸部癌に対し、カテーテルを用いて超選択的に腫瘍栄養血管へ抗癌剤を動脈内投与することで、咽喉頭を温存しつつ治療する。放射線照射や全身化学療法を併用することで、咽喉頭切除と同等の局所制御が得られる。また、再発症例にも適応できる。(放射線科(画像診断))(耳鼻咽喉科)(放射線科(治療))			
医療技術名	強度変調放射線治療	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要			
コンピューター制御で治療ビームの強度を最適化することにより、従来の照射方法よりも低浸襲で高い根治性を実現できる。早期癌のみならず、従来は治療困難であった進行癌に対しても有用性が期待される。(放射線科(治療))			
医療技術名	脳定位放射線治療	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
コンピューター制御で治療ビームの強度を最適化することにより、従来の照射方法よりも低浸襲で高い根治性を実現できる。早期癌のみならず、従来は治療困難であった進行癌に対しても有用性が期待される。(放射線科(治療))			
医療技術名	肺定位放射線治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
専用の体幹部固定具を用いて位置精度を高め、病変のみにピンポイントで高線量を照射できる。3cm程度までの肺野病変であれば手術に匹敵する治療成績が得られる。入院は不要で、1週間の外来通院で治療が終了する。(放射線科(治療))			
医療技術名	核医学による局所脳血流量の定量	取扱患者数	153人
当該医療技術の概要			
I-123 IMP SPECT と持続動脈採血による局所脳血流量(rCBF)の定量は、脳血流シンチグラフィによるイメージのみでは評価が困難な瀰漫性の病変に対して、客観的なデータを供給できる。(放射線科(核医学診療))(神経内科)(脳神経外科)(脳卒中科)			
医療技術名	アセタゾラミド負荷脳血流 SPECT 1日法	取扱患者数	79人
当該医療技術の概要			
脳血流SPECTの新しい画像再構成プログラム(quantitative SPECT: QSPECT)を用いて、同一日に連続して安静時と負荷時のデータを取得し脳循環予備能の評価を行う。(放射線科(核医学診療))(脳神経外科)(脳卒中科)			
医療技術名	脳血流SPECTの画像統計解析	取扱患者数	603人
当該医療技術の概要			
脳血流SPECTの検査結果を、画像統計解析法を用いて、脳表像と断層像について健常者画像データベースに対するZ値で表示する。(放射線科(核医学診療))(神経内科)(脳神経外科)(脳卒中科)			
医療技術名	有限要素解析法を用いた骨強度の評価	取扱患者数	159人
当該医療技術の概要			
有限要素解析法を用いてX線CTのデータから一定の条件下での骨の破壊強度を推定する。(放射線科(核医学診療))(整形外科)			

医療技術名	赤血球膜異常症の病因解析、遺伝子診断	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要			
赤血球膜異常症の病因解析において、走査電顕を用いた赤血球形態診断、膜蛋白分析、当該遺伝子解析を行い、病因の診断、治療選択に有効であった。(中央検査部)			
医療技術名	HIV-1の薬剤耐性遺伝子検査	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
HIV塩基配列を確認して、薬剤耐性獲得の有無を検証するのに有用であった。(中央検査部)			
医療技術名	白血病・リンパ腫関連遺伝子診断	取扱患者数	106人
当該医療技術の概要			
RT-nested PCR 法により、微小残存白血病細胞の検出を行い、臨床的な寛解の判定や再発の早期診断に有効であった。(中央検査部)			
医療技術名	イマチニブ血中濃度測定	取扱患者数	105人
当該医療技術の概要			
HPLC法によってイマチニブ血中濃度を測定し、服薬の確認、有害事象の原因究明、テーラーメード医療に資する情報を得た。(中央検査部)			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	60 人	・膿疱性乾癥	5 人
・多発性硬化症	39 人	・広範脊柱管狭窄症	6 人
・重症筋無力症	63 人	・原発性胆汁性肝硬変	55 人
・全身性エリテマトーデス	248 人	・重症急性胰炎	17 人
・スモン	22 人	・特発性大腿骨頭壞死症	59 人
・再生不良性貧血	34 人	・混合性結合組織病	23 人
・サルコイドーシス	44 人	・原発性免疫不全症候群	2 人
・筋萎縮性側索硬化症	25 人	・特発性間質性肺炎	6 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	219 人	・網膜色素変性症	21 人
・特発性血小板減少性紫斑病	96 人	・プリオン病	1 人
・結節性動脈周囲炎	44 人	・肺動脈性肺高血圧症	1 人
・潰瘍性大腸炎	236 人	・神経線維腫症	11 人
・大動脈炎症候群	33 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・ビュルガー病	69 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
・天疱瘡	20 人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2 人
・脊髄小脳変性症	54 人	・ライソゾーム病	1 人
・クローン病	162 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0 人
・悪性関節リウマチ	15 人	・脊髄性筋委縮症	4 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	192 人	・球脊髄性筋委縮症	8 人
・アミロイドーシス	5 人	・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	10 人
・後縦靭帯骨化症	40 人	・肥大型心筋症	7 人
・ハンチントン病	0 人	・拘束型心筋症	0 人
・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	29 人	・ミトコンドリア病	4 人
・ウェグナー肉芽腫症	6 人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0 人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	34 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシライ・ドレーガー症候群)	39 人	・黄色靭帯骨化症	1 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1 人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、コナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	45 人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床部門と病理診断部門との症例検討会 1か月 20回程度 臨床部門と臨床検査部門との症例検討会 1か月 16回程度
部 檢 の 状 況	部検症例数 33 例 / 部検率 5.8%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
再発・進行癌に対する自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法の臨床研究	山口佳之	臨床腫瘍学	900 万円	補 委 沖縄先端医療研究共同体
難治性血管炎に関する調査研究班	種本 和雄	心臓血管外科学	180 万円	補 委 厚生労働省
経口糖尿病薬による糖尿病からの離脱および動脈硬化抑制研究(PREVENT-J)	加来 浩平	糖尿病・代謝・内分泌内科学	1,899 万円	補 委 財団法人循環器病研究振興財團
本邦での乳癌検体におけるホルモン受容体、HER2受容体発現評価の精度管理システム構築に関する研究	紅林 淳一	乳腺甲状腺外科学	110 万円	補 委 厚生労働省
肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究	日野 啓輔	肝胆膵内科学	150 万円	補 委 厚生労働省
血小板低値例へのインターフェロン治療の確立を目指した基礎および臨床的研究	日野 啓輔	肝胆膵内科学	80 万円	補 委 厚生労働省
慢性C型肝炎のインターフェロン療法における幹細胞機能の変化とつ病発症に関する基礎・臨床連携研究	日野 啓輔	肝胆膵内科学	30 万円	補 委 厚生労働省
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(PhaseIII)ならびに効果を予測する	日野 啓輔	肝胆膵内科学	30 万円	補 委 厚生労働省
ホウ素中性子捕獲療法(BNCT)を用いた悪性胸膜中皮腫に対する効果的治療法の開発研究	平塚 純一	放射線医学 (治療)	300 万円	補 委 厚生労働省
病院設置型加速器ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)システムの開発	平塚 純一	放射線医学 (治療)	200 万円	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
HDR組織内照射等の標準化の研究	平塚 純一	放射線医学 (治療)	60 万円	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
特発性造血障害に関する研究	通山 薫	中央検査部	90 万円	補 委 厚生労働省

計 12

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計 12

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本ヘリコバクター学会誌 13(2):13(2)	ABC分類(胃の‘健康度’評価、胃がんリスク診断)の基本と問題点	井上和彦	総合臨床医学
日本消化器がん検診学会雑誌 49(6):1096-1104	経鼻・経口内視鏡発見別の早期胃がんの臨床病理学的検討	山下直人	総合臨床医学
The American journal of Chinese medicine 39(3): 451-459	Efficacy and Safety of Orally Administered Lentinula edodes Mycelia Extract for Patients Undergoing Cancer Chemotherapy: A Pilot Study	Yoshiyuki Yamaguchi	臨床腫瘍学
治療 93(5):1287-1292	緩和医療 疼痛緩和と医療連携	山口佳之	臨床腫瘍学
臨床麻酔 35(7):1067-1071	進行・再発大腸癌化学療法の最前線	山口佳之	臨床腫瘍学
Biotherapy 25(5):785-790	バイオセラピーの息吹—カワラタケが拓いた世界—	山口佳之	臨床腫瘍学
臨床腫瘍プラクティス 7(4):415-419	がんの治療薬を知る—薬剤選択のための知識(26) アプレピタント	山口佳之	臨床腫瘍学
Internal Medicine 50(9):1069-1073	Pulmonary Mycobacterium massiliense disease with septicemia during immunosuppressive treatment.	Kobashi Yoshihiro	呼吸器内科学
Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy in press	Relationship between clinical efficacy for pulmonary MAC and drug-sensitivity test for isolated MAC in a recent 6-year period.	Kobashi Y	呼吸器内科学
International Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease 6:679-683	Nutritional deficits in elderly smokers with respiratory symptoms that do not fulfill the criteria for COPD.	Obase Y	呼吸器内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
アレルギー 60(12):1621-1629	Botulinum toxin type A for the treatment of lower urinary tract disorders	尾長谷靖	呼吸器内科学
European journal of immunology 41(11):3198-3207	CD44 is critical for airway accumulation of antigen-specific Th2, but not Th1, cells induced by antigen challenge in mice.	Katoh S	呼吸器内科学
International Journal of Cancer in press	Spontaneous antibody, and CD4 and CD8 T-cell responses against XAGE-1b (GAGED2a) in non-small cell lung cancer patients.	Ohue Y	呼吸器内科学
Internal medicine 50(7):775-778	Solitary pulmonary nodule due to Mycobacterium kansasii.	Abe M	呼吸器内科学
Annals of allergy, asthma & immunology 106(5):378-380	Stability of sealed-bag samples for off-line measurement of fractional exhaled nitric oxide.	Shimizu H	呼吸器内科学
The Annals of Thoracic Surgery 93(2):398-403頁	Maximal Standardized Uptake Value on FDG-PET Is Correlated With Cyclooxygenase-2 Expression in Patients With Lung Adenocarcinoma	Shimizu Katsuhiko	呼吸器外科学
日本呼吸器外科学会 25(5):485-490頁	術前CEA正常値を示した非小細胞肺癌の術後経過観察におけるCEA測定の意義	平見有二	呼吸器外科学
日本血管外科学会雑誌 20(7):905-911	重症虚血肢の集学的治療と治療戦略	正木久男	心臓血管外科学
脈管学 51(4):401-406	下肢閉塞性動脈硬化症の多発動脈病変に対するバイパスとハイブリッド治療の選択	正木久男	心臓血管外科学
Journal of Cardiac Surgery 26:553-554	Pseudoaneurysm at the aortic anastomosis following heart transplantation.	Kosaku Nishigawa	心臓血管外科学
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 59(7):518-521	Total aortic arch replacement for a patient with poor left ventricular function and patent coronary artery bypass grafts: how to establish effective myocardial protection	Kosaku Nishigawa	心臓血管外科学
Circulation Journal. 75(12):2908-2909	Trip-Chamber Cardiac Thrombosis in a Patient With Atrial Fibrillation and Severe Left Ventricular Dysfunction.	Kosaku Nishigawa	心臓血管外科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Urology 19(3):201-215	Botulinum toxin type A for the treatment of lower urinary tract disorders	Yokoyama T	泌尿器科学
BJU international 109(6):835-839	Salvage high-dose-rate brachytherapy for local prostate cancer recurrence after radiotherapy - preliminary results.	Jo Yoshimasa	泌尿器科学
Diabetes Management 1(4):451-463	Liraglutide for the treatment of diabetes in Japan.	Kaku Kohei	糖尿病・代謝・内分泌内科学
Journal of Diabetes Investigation 2(5):3071-3077	Thiazolidinediones and bone fractures.	Kaku Kohei	糖尿病・代謝・内分泌内科学
Diabetology International 2:107-108	Pharmacotherapy of diabetes and cancer risk.	Kaku Kohei	糖尿病・代謝・内分泌内科学
Current medical research and opinion 27(suppl 3):73-84	Efficacy and safety of combination therapy with candesartan cilexetil and pioglitazone hydrochloride in patients with hypertension and type 2 diabetes mellitus.	Kaku Kohei	糖尿病・代謝・内分泌内科学
Diabetes, obesity & metabolism 13(11):1028-1035	Efficacy and Safety of Alogliptin added to Pioglitazone in Japanese Patients with Type 2 Diabetes: a Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Trial with an Open-Label Long-Term Extension Study.	Kaku Kohei	糖尿病・代謝・内分泌内科学
医学のあゆみ 239(11):1135-1144	グリメピリド単剤にてコントロール不十分な2型糖尿病患者へのメトホルミン追加投与の有効性の検証—他施設共同ランダム化比較試験—	加来浩平	糖尿病・代謝・内分泌内科学
Journal of Diabetes Investigation 2(6):441-447	Fifty-two-week, randomized, multicenter trial to compare the safety and efficacy of the novel glucagon-like peptide-1 analog liraglutide vs glibenclamide in patients with type 2	Kaku Kohei	糖尿病・代謝・内分泌内科学
Molecular Endocrinology 26(1):95-109	Ablation of 3-Phosphoinositide-Dependent Protein Kinase 1(PDK1) in Vascular Endothelial Cells Enhances Insulin Sensitivity by Reducing Visceral Fat and Suppressing Angiogenesis	Tawaramoto Kazuhito	糖尿病・代謝・内分泌内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetologia 54(5):1098-1108	The human glucagon-like peptide-1 analogue liraglutide preserves pancreatic beta cells via regulation of cell kinetics and suppression of suppression of oxidative and endoplasmic reticulum stress in a mouse model of diabetes.	Shimoda Masashi	糖尿病・代謝・内分泌内科学
糖尿病 55(2):103-109	2型糖尿病患者の末梢動脈疾患診断におけるTBI(toe-brachial index)の有用性:ABI(ankle-brachial index)との比較検討	下田将司	糖尿病・代謝・内分泌内科学
医学と薬学 66(1):81-88	動脈硬化進展予知因子としてのLDL-C/HDL-C比の有用性(第2報)－慢性腎臓病合併2型糖尿病患者におけるIMT肥厚度との関連－	菅田有紀子	糖尿病・代謝・内分泌内科学
神経内科 74(4):327-332	筋ジストロフィーの病態	砂田芳秀	神経内科学
治療 1898-1899	認知症の薬物治療	砂田芳秀	神経内科学
BRAIN and NERVE 63(11):1271-1277	筋萎縮症に対するマイオスタチン阻害療法	砂田芳秀	神経内科学
Current gene therapy 11(6):447-456	Plasmid DNA Gene Therapy by Electroporation : Principles and Recent Advances	Murakami T	神経内科学
脊椎脊髄ジャーナル 24(5):536-540	多発ニューロパチー・多発性单ニューロパチー	黒川勝己	神経内科学
難病と在宅ケア 46-49	筋ジストロフィーに対する細胞治療の展望	大澤 裕	神経内科学
Internal Medicine 50:757-761	Dramatic Response of Dropped Head Sign to Treatment with Steroid in Parkinson's Disease:Report of Three Cases	Hemmi S	神経内科学
Frontiers in Parkinson Disease 4(3):158-161	パーキンソン病治療におけるプラミペキソール維持量の決定	逸見祥司	神経内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床神経学 52(2):73-78	健忘症状で気づかれた17番染色体に連鎖したタウ遺伝子変異による家族性前頭側頭型認知症パーキンソンズムの1家系	久徳弓子	神経内科学
European neurology 66(5):245-249	Does ICA Occlusion Frequently Have Intracerebral Hemorrhage after IV Tissue Plasminogen Activator Therapy for Ischemic Stroke?	Kimura Kazumi	脳卒中医学
European neurology 66(5):291-295	Clinical and MRI scale to predict very poor outcome in tissue plasminogen activator patients	Kimura Kazumi	脳卒中医学
Journal of the neurological sciences 304(1-2):35-39	Serial changes in ischemic lesion volume and neurological recovery after t-PA therapy.	Kimura Kazumi	脳卒中医学
Journal of the neurological sciences 307(1-2):55-59	Admission hyperglycemia and serial infarct volume after t-PA therapy in patients with and without early recanalization.	Kimura Kazumi	脳卒中医学
Stroke; a journal of cerebral circulation 42(11):3150-3155	Clinical and MRI Predictors of No Early Recanalization Within 1 Hour After Tissue-Type Plasminogen Activator Administration.	Kimura Kazumi	脳卒中医学
Neurological research 33(10):1038-1043	A simple clinical and MRI scale to predict good outcome in t-PA patients.	Kimura Kazumi	脳卒中医学
Journal of the neurological sciences 313(1-2):132-136	Administration of edaravone, a free radical scavenger, during t-PA infusion can enhance early recanalization in acute stroke patients - A preliminary study.	Kimura Kazumi	脳卒中医学
Cerebrovascular diseases (Basel, Switzerland) 31(1):51-56	Utility of the Kurashiki Prehospital Stroke Scale for hyper-acute stroke.	Iguchi Yasuyuki	脳卒中医学
Cerebrovascular diseases EXTRA 1(1):28-35	The Kurashiki Prehospital Stroke Scale is a prehospital scale that can predict long-term outcomes of acute cerebral ischemia	Iguchi Yasuyuki	脳卒中医学
European neurology 66(5):271-276	Differences in Brain Natriuretic Peptide Value between Transient Ischemic Attack and Stroke Patients with Atrial Fibrillation.	Shibasaki Kensaku	脳卒中医学

計 11

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of neuroimaging : official journal of the American Society of Neuroimaging 21(4):355-358	Evaluation of Cerebral Hemorrhage Volume Using Transcranial Color-Coded Duplex Sonography.	Matsumoto Noriko	脳卒中医学
Journal of the neurological sciences 304(1-2):111-116	Higher LA pressure may prevent opening of patent foramen ovale in acute ischemic stroke patients with atrial fibrillation.	Aoki Junya	脳卒中医学
Journal of the neurological sciences 304(1-2):40-43	Spontaneous intra-cranial arterial dissection frequently causes anterior cerebral artery infarction.	Shimoyama Takashi	脳卒中医学
脳神経外科ジャーナル 20(7):531-535	小児頭蓋外内頸動脈仮性動脈瘤の1例	戸井宏行	脳神経外科学1
Neurologia medico-chirurgica 51(12):846-849	Paraspinal arteriovenous fistula presenting with subarachnoid hemorrhage and acute progressive myelopathy. -Case report-	Toi H	脳神経外科学1
脳卒中の外科 39(3):193-197	小脳出血における内視鏡下血腫吸引除去術の有用性	横須賀公彦	脳神経外科学1
Neurologia medico-chirurgica 51(7):543-546	Freehand Technique for Endoscopic Hematoma Evacuation of Putaminal Hemorrhage -Technical Note-	Kimihiko Yokosuka	脳神経外科学1
脳神経外科速報 21(12):1387-1391	ぐも膜下出血後正常水頭症に対して脳室心房短絡術が著効した多発性囊胞腎血液透析患者の1例	宮本健志	脳神経外科学1
精神科治療学 26(8):981-986	がん患者における「受診の遅延」-心理的背景と受診後の対応-	山田了士	精神科学
総合病院精神医学 23(1):27-34	てんかんに随伴する精神症状	山田了士	精神科学
精神科 20(2):192-195	神経疾患とリエゾン精神医学	山田了士	精神科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産婦人科の実際 60(11):1783-1792	産婦人科の薬剤使用プラクティス:病態別処方—産科編 合併症妊娠 10. 精神疾患(統合失調症、うつ病、不安障害)	宮崎哲治	精神科学
臨床精神医学 41(1):61-67	強迫性障害の認知行動療法	宮崎哲治	精神科学
Pediatrics International 53(6):1075-1077	Natural alteration of antibody titers in a patient with immunoglobulin A deficiency after chickenpox over a 10-year period	Terada Kihei	小児科学
Journal of Pediatric Surgery 47(2):329-335	In vitro tissue-engineering of smooth muscle sheets with peristalsis using a murine induced pluripotent stem cell line	Atsushi Yoshida	小児外科学
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 1447	A case of serous endometrial intraepithelial carcinoma with p53 positivity for six years.	Kaku S	産婦人科学
Japanese Journal of Clinical Oncology 41(6):739-746	The cell cycle profile (C2P) test is a prognostic indicator for breast cancer patients treated with postoperative 5-fluorouracil-based chemotherapy.	Kurebayashi Junichi	乳腺甲状腺外科学
ISRN Endocrinology 2011	Analysis of clinical outcome of patients with poorly differentiated thyroid carcinoma.	Tanaka Katsuhiro	乳腺甲状腺外科学
Surgery Today	Current trends in TSH suppression therapy for patients with papillary thyroid carcinoma in Japan: results of a questionnaire distributed to councilors of the Japanese Society of Thyroid Surgery.	Tanaka Katsuhiro	乳腺甲状腺外科学
内分泌外科 28(3):175-179	乳癌におけるKi-67の生物学的検討	山本裕	乳腺甲状腺外科学
Hip Joint 37:395-399	セメントレスTHAにおける術前大腿骨前捻と術後システム前捻について システムの種類による比較	難波良文	骨・関節整形外科学
中国・四国整形外科学会雑誌 23(3):437	TAPERLOCシステムを用いたTHAにおける2次元術前計画の検討	黒田崇之	骨・関節整形外科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of gastroenterology and hepatology 26(8):1270-1274	Use of an external real-time image viewer coupled with prespecified actions enhanced the complete examinations for capsule endoscopy.	Shiotani Akiko	消化管内科学
Gastrointestinal Endoscopy 183-192	Evaluation of Duodenal Hypersensitivity to Acid Using Transnasal Endoscopy	Ishii Manabu	消化管内科学
日本消化器病学会雑誌 108(7):1288-1292	アルコール性肝硬変に合併したGd-EOB-DTPA造影MRI肝細胞相で低信号を呈した肝腫瘍	日野啓輔	肝胆膵内科学
Liver international : official journal of the International Association for the Study of the Liver 31:552-560	Aglycyrrhizin-containing preparation reduces hepatic steatosis induced by hepatitis C virus protein and iron in mice	Masaaki Korenaga	肝胆膵内科学
Hepatic Medicine 3:45-52	Type 1 interferon receptor in peripheral blood mononuclear cells may predict response to intra-arterial 5-fluorouracil + interferon therapy for advanced hepatocellular carcinoma	Yasuyuki Tomiyama	肝胆膵内科学
第46回 日本肝癌研究会記録集 124-125	非B非C肝細胞癌、特に成因不明肝細胞癌の臨床的特徴についての検討	富山恭行	肝胆膵内科学
Internal Medicine 50:1193-1199	Focal Nodular Hyperplasia - Like Nodule with Reduced Expression of Organic Anion Transporter 1B3 in Alcoholic Liver Cirrhosis	Nobuko Doi	肝胆膵内科学
胆と膵 32(1):29-33	【膵疾患に対する鏡視下手術の現況】腹腔鏡下膵体尾部切除術 安全性向上の工夫	中村雅史	消化器外科学
Surgical endoscopy 25:867	Prolonged peri-firing compression with a linear stapler prevents pancreatic fistula in laparoscopic distal pancreatectomy	Masafumi Nakamura	消化器外科学
Surgery 150(2):326	Lateral approach for laparoscopic splenic vessel-preserving distal pancreatectomy	Masafumi Nakamura	消化器外科学
外科治療 105(6):559	腹腔鏡下膵体尾部切除術	中村雅史	消化器外科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of surgical oncology : the official journal of the Society of Surgical Oncology in press	Claudin-4 Expression Predicts Survival in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	Tsutsumi K	消化器外科学
肝・胆・脾 63(2):277-283	【膵神経内分泌腫瘍-Up date 2011】非機能性腫瘍の診断・治療	堤宏介	消化器外科学
Diseases of the esophagus : official journal of the International Society for Diseases of the Esophagus / I.S.D.E 1-6	Safe esophageal reconstruction by ileocolic interposition	H. Matsumoto	消化器外科学
胃と腸 46(9):1383-1388	【若年者の胃・十二指腸病変の特徴】 主題症例 妊娠中に持続する悪阻症状で発見された進行胃癌症例	塙田寿子	消化器外科学
日本眼科学会雑誌 115(4):374-381	裂孔原性網膜剥離復位後における視細胞外節の回復過程の検討	川島裕子	眼科学
Japanese Journal of Ophthalmology Epub ahead of print	Factors affecting imaging of spectral-domain optical coherence tomography in gas-filled eyes after macular-hole surgery	Katsutoshi Goto	眼科学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 83(5):96-1000	【特集 耳鼻咽喉科感染症の完全マスター】 II 病原体をマスターする 細菌・原虫感染症 緑膿菌	原田保	耳鼻咽喉科学
ENTONI (131):1-7	【特集 耳鼻咽喉科領域のウィルス・細菌・真菌感染症治療戦略】 外耳道炎・皮膚感染症	原田保	耳鼻咽喉科学
耳鼻咽喉科臨床 104(5):371-377	メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患例	兵行義	耳鼻咽喉科学
JOHNS 27(11):1756-1760	【特集 慢性炎症の病態を理解する】 慢性炎症とI型アレルギー	兵行義	耳鼻咽喉科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiology 261(5):582-586	The Secretory Flow of Pancreatic Juice in the Main Pancreatic Duct: Visualization by Means of MRCP with Spatially Selective Inversion-Recovery Pulse	Ito Katsuyoshi	放射線医学(画像診断1)
AJR. American journal of roentgenology 196(4):824-830	Hepatic Hemangioma: Evaluation of enhancement pattern at dynamic MR imaging with Gd-EOB-DTPA	Tamada Tsutomu	放射線医学(画像診断1)
AJR. American journal of roentgenology 197(2):408-414	Locally recurrent prostate cancer after high-dose-rate brachytherapy: the value of diffusion-weighted imaging, dynamic contrast-enhanced MRI, and T2-weighted imaging in localizing tumors.	Tamada Tsutomu	放射線医学(画像診断1)
AJR. American journal of roentgenology 197(3):664-670	Prostate cancer detection in patients with total serum prostate-specific antigen level between 4 and 10 ng/ml: diagnostic efficacy of diffusion-weighted imaging, dynamic contrast-enhanced MR imaging and T2-weighted imaging	Tamada Tsutomu	放射線医学(画像診断1)
European journal of radiology 80(3):e207-211	Gd-EOB-DTPA enhanced MR imaging: Evaluation of biliary and renal excretion in normal and cirrhotic livers	Tamada Tsutomu	放射線医学(画像診断1)
European journal of radiology 80(3):e284-288	Comparison of Three Different Injection Methods for Arterial Phase of Gd-EOB-DTPA Enhanced MR imaging of the Liver	Tamada Tsutomu	放射線医学(画像診断1)
European journal of radiology 80(3):e311-316	Gd-EOB-DTPA-enhanced MR Imaging: Evaluation of hepatic enhancement effects in normal and cirrhotic livers	Tamada Tsutomu	放射線医学(画像診断1)
Radiology 260(3):781-789	Quantitative Evaluation of Acute Renal Transplant Dysfunction with Low-Dose Three-dimensional MR Renography	Yamamoto Akira	放射線医学(画像診断1)
Journal of computer assisted tomography 36(2):181-186	Serial 3-dimensional volumetric computed tomography evaluation of lung cancer growth rate in patients with chronic obstructive pulmonary disease findings	Tanimoto Daigo	放射線医学(画像診断1)
ペインクリニック 33(1):23-29	上腹部手術の周術期疼痛管理	前島亨一郎	麻酔・集中治療医学2
Laser scanning, Theory and applications 185-194	Application of laser scanning cytometry to clinical and laboratory hematology	Tsujioka Takayuki	検査診断学(病態解析)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本検査血液学会雑誌 12(2):240-247	骨髓異形成症候群の形態診断	辻岡貴之	検査診断学 (病態解析)
Neurogastroenterology & Motility 23:215-e112	Impaired gastric response to modified sham feeding inpatients with postprandial distress syndrome	Manabe Noriaki	検査診断学 (内視鏡・超音波)
Digestive Endoscopy 23(2):166-172	Does short-segment columnar-lined esophagus elongate during a mean follow-up period of 5.7 years?	Manabe Noriaki	検査診断学 (内視鏡・超音波)
Journal of clinical pathology 64(7):578-586	Clinicopathological significance of Y416Src and Y527Src expression in breast cancer.	Kanomata Naoki	病理学2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

計 4

合計112

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 角田 司
管理担当者氏名	病院事務部長 難波 徹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療資料部	外来・入院診療録は電子カルテ X線フィルムはP A C S (医用画像保管・配信システム) (※H21.12.31以前は紙カルテで保管)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事課 病院事務部病院庶務課	
	高度の医療の提供の実績	病院事務部医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事務部医事課	
	高度の医療の研修の実績	病院事務部病院庶務課	
	閲覧実績	病院事務部医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部医事課 薬剤部	
	第規一則号第一に掲げる十體一制第一確項保各の号況及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医療安全管理部 医療安全管理部 医療安全管理部 医療安全管理部 医療安全管理部 院内感染対策室 医療安全管理部 病院事務部病院庶務課

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第一條の十一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室		
		病院事務部病院庶務課		
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	病院事務部病院庶務課		
		院内感染対策室		
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	院内感染対策室		
		病院事務部病院庶務課 薬剤部		
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	病院事務部病院庶務課 薬剤部		
		薬剤部		
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部		
		病院事務部病院庶務課 MEセンター		
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	MEセンター		
		MEセンター		
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター		
		MEセンター		
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター		
		MEセンター		
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	MEセンター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 難波 徹
閲覧担当者氏名	病院庶務課長 村上 進、医事課長 大塚 京子
閲覧の求めに応じる場所	病院庶務課(応接室)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	60.7 %	算 定 期 間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			13,927 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			14,553 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			3,355 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			37,908 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： ・川崎医科大学附属病院における医療事故防止に係る安全管理の基準、規範となるべき事項を定め、解説して医療安全管理への取り組みの目的を明らかにするものである。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年43回
・ 活動の主な内容： ・医療安全管理に関する委員会は、まず院内の取り組みを総括する委員会として「病院医療安全管理委員会」を設置し、その下部委員会として、各部門から選出されたリスクマネージャーでリスクマネジメントの具体的な実務及び、医師、看護師、その他各職員への情報公開を図る「リスクマネージャー連絡会議」を位置付けている。また、医療事故の発生事例に対処する「事故調査委員会」「病院医療委員会」を設置している。 (1) 病院医療安全管理委員会：23回開催 病院全体の立場から事故防止に関する諸問題を検討して決定する組織である。 医療安全問題に関する現状の把握と院内情報公開に関する事。医療事故の予防と対策に関する事。安全医療を提供するためのマニュアルに関する事。医療安全管理の教育、研修と啓発活動に関する事。啓発活動としてニュースレターの発行、医療安全推進週間のポスター等の作成、医療安全カレンダーの作成。 (2) リスクマネージャー連絡会議：10回開催 病院医療安全管理委員会で審議された事項を通達し各部門に啓発する。 6つのワーキンググループを形成して定期的に会議（月1、2回）を行い、インシデント報告書のレビューを行う。インシデント報告内容については定期的にデータを評価する。再調査が必要な事例や、ニュースレターの原稿作成の基となる情報や職員への通達、啓発が必要な事項があれば各ワーキンググループから委員会議事録を持って医療安全委員会に要望・進言をする。年1回はワーキンググループが月単位で医療安全パトロールを実施し、ワーキング活動の検証を行う。 (3) 病院医療委員会：2回開催 医療事故発生への対処を適切かつ円滑に実施するために病院運営委員会の小委員会で対処方法に関する事項を審議する。 (4) 事故調査委員会：3回開催 (5) 医薬品安全管理委員会：1回開催 (6) 医療機器安全管理委員会：4回開催	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容： ・川崎医科大学附属病院のための基本的な考え方及び具体的な方策について職員に周知徹底するため、平成23年度は次の研修を実施した。 1. 「平成22年度リスクマネージャーWGの活動報告」 (器械・器具WG, 食事・IC・書類WG, 手術・処置・損傷WG, 内服・外用・注射WG) 医師 207名, 看護師 304名, その他 326名 計 837名 DVD 視聴 395名 総計 1,232名 2. ①平成22年度リスクマネージャーWGの活動報告(検査・輸血WG、転倒・転落WG) ②医療機器安全管理委員会の活動報告 ③MR I 検査を安全に行うために 医師 179名, 看護師 338名, その他 351名 計 868名 DVD 視聴 403名 総計 1,271名 3. 睽違.COM（どっと来るむ）～川大の役割と在宅とのギャップ～」 医師 192名, 看護師 324名, その他 281名 計 797名 DVD 視聴 243名 総計 1,040名	

4. ①当院の医療安全管理について		
②厚生労働省 「内服処方箋の記載方法のありかたに 関する検討会の報告」を受けて 医師207名, 看護師337名, その他346名	計890名	
DVD視聴 302名		総計 1, 192名
5. 情報システムと個人情報		
医師186名, 看護師298名, その他293名	計777名	
DVD視聴 364名		総計 1, 141名
6. 医療安全のキーワードを活かす対策		
医師 196 名, 看護師 298 名, その他 322 名	計 816 名	
DVD視聴 263名		総計 1, 079名

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備	(有)	・ 無
・ その他の改善の方策の主な内容 :		
1. ニューズレターによる情報の提供・広報・啓発活動 (2回/月 発行)		
2. インシデント・アクシデント防止のために必要時注意・啓発目的でDVD・標語・ポスターの作成		
3. リスクマネージャーウェーリンググループ活動・医療安全パトロールからの情報・アクシデントの分析から対策案等をマニュアル化して医療安全マニュアルに追加する		
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有)	(1名)
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)	(4名)
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)	・ 無
・ 所属職員 : 専任 (2) 名 兼任 (2) 名		
・ 活動の主な内容 :		
1. 病院医療安全管理委員会と各部門から選出されたリスクマネージャー (ワーキンググループ) らと連携を図り、効果的具体案を検討し、要望、意見、質問に対して対応をする。		
2. 日本医療機能評価機構の認定更新のために患者の権利と安全の確保 (患者の安全確保体制) 診療の質の確保 (診療に係る安全管理の評価) と安全のためのケアプロセスについての評価や医療安全管理指針を文書で作成する。また、改訂について検討する。		
3. インシデント報告に対するフィードバック機構の充実→毎日各部署の巡視、各部門とのコミュニケーションと現状把握。		
4. 各部門とのコミュニケーションと現状把握、検証のために医療安全管理委員会やワーキンググループのメンバーで月1回の医療安全パトロール等の病棟等の巡視を行う。		
5. 医療マニュアル総論版第5版、ポケットタイプ第5版の改訂。		
6. 安全医療を提供するための医療マニュアル (総論版、各診療科版) の改訂。		
7. 医療安全に関する職員教育講演会、他研修会の計画、実施、評価。		
8. 医療安全管理部の広報誌ニュースレターのより一層の充実を図り、全職員の啓発活動を行う。		
9. 医療安全管理部の活動をホームページで紹介し、内容の見直しを行う。		
10. 医療安全推進月間の継続、毎年実施するイベントの計画立案、実施する。		
11. 新入職員に関する医療安全教育の計画立案、実施する。		
12. 医療安全カレンダーを作成し、啓発活動を行う。		
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)	・ 無

(様式第13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： ・ 院内感染対策の基本的な考え方、院内感染対策委員会とその基本事項、研修に関する基本方針、感染症発生状況の報告に関する基本方針、院内感染発生時の対応に関する基本方針、当該指針の閲覧およびその他院内感染対策推進のための必要な基本方針について記載している。	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： ・ 職種横断的に委員がおり、院内感染対策室の活動状況、ICTの活動、耐性菌の発生状況、抗菌使用状況、問題のある例などが報告され、協議検討されている。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年7回
・ 研修の主な内容： ・ 1回は外部講師により院内感染対策に関する講演会、2回は院内講師で薬剤耐性菌の基礎、標準予防策および感染経路別予防策について講演した。また中途採用者と未受講者を対象にした講演会を実施した。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善の方策の主な内容： ・ 毎週、院内の耐性菌発生状況が報告され、それによってICTのラウンドとは別に病棟ラウンドしている。またMRSAなど耐性菌の多い病棟や救命救急センターなどで、薬剤耐性菌に関するワーキンググループを作り活動している。	(有)・無)

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">新入研修医対象研修会 「医薬品安全管理」(H23.4)新入看護師対象研修会 「医薬品を安全に取り扱うために」(H23.4)職員教育講演会 「内服処方箋の記載の統一について」(H23.11)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">手順書の定める内容に従ってマニュアルを作成し、業務を実施している。業務実施確認チェックリストを用いて、半年に1回、実施状況を確認している。医薬品管理チェックリストを用いて、病棟、外来処置室における安全使用を確認している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医薬品安全性情報が発出された品目について、当該製剤を処方する診療科、医師に対して個別に情報を提供し対策を検討する。<ul style="list-style-type: none">ピオグリタゾン (H23.6 膀胱がんリスク)ダビガトラン (H23.6 腎障害を有する高齢者での重篤な出血性)チャンピックス錠 (H23.10 意識障害)免疫抑制作用を有する医薬品投与 (H23.10 B型肝炎ウイルス増殖)ユリノーム錠 (H23.11 肝機能障害)メルカゾール錠 (H23.12 無顆粒球症)サーバリックス・ガーダシル (H24.2 接種後の失神)イナビル吸入 (H24.2 異常行動)院内で発生したインシデント・アクシデント報告は、医療安全管理委員会経由で注射・内服・外用ワーキングチームで対応を検討し、医療安全管理委員会に上申する。審議の結果は、リスクマネージャー会議で報告され情報共有する。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年59回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・新規に導入された医療機器について実施（2011年度最新：携帯用生体情報モニタ、除細動器、血液浄化装置、麻酔器ほか）・定期的な研修としては人工呼吸器や除細動器、透析装置、保育器などの使用方法、トラブル対応などについて実施・各部署から個別研修依頼への対応・新入職員（看護師・研修医ほか）研修：輸液ポンプシリンジポンプ、人工呼吸器など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 （有）・無・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・MEセンターによる中央管理機器（人工呼吸器、除細動器、保育器、血液浄化関連装置、体外循環装置、輸液シリンジポンプなど）・放射線関連機器については、診療放射線技師による日常点検及び、メーカーにて定期点検を実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有）・無・ その他の改善の方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・情報収集の方法<ul style="list-style-type: none">外部メーカーや業者からの入手、PMDA及び厚生労働省等からの入手（メール登録含む）、医療機器安全管理委員会及び病院医療安全管理委員会などの開催時における各部門からの報告による入手。・情報の周知方法<ul style="list-style-type: none">院内医療機器研修会（院内全体10月予定）および院内職員教育講演会（12月予定）等による従事者への情報提供（資料配布含む）、新人等に対する研修も含む。院内電子掲示板を利用してMEセンターから職員へ周知、医療機器安全管理委員会及び病院医療安全管理委員会の定期的な開催による報告と情報収集、ニュースレター（医療安全管理部発行・隔週発行）回覧による職員への周知。・自主回収の情報収集及び改善の方策の実施<ul style="list-style-type: none">現在までに16件該当あり（除細動器、血液浄化装置、人工呼吸器、放射線診断装置、医療材料等）	